

改善方策実施計画書

担当部局：スポーツ・健康科学研究科

責任者：スポーツ・健康科学研究科委員長

幹事：スポーツ・健康科学部事務室

2011年3月31日

認証評価指摘事項	<p>【助言】【総評】教育・研究上の目的は、学科および専攻ごとに、学則に定められているものの、学部および研究科の目的は定められていない。</p> <p>【助言】【総評】大学院の専攻ごとの目的は「大学院設置基準」の文言に倣ったものであり、専攻独自の目的が見られない。</p> <p>【総評】理念、目的、教育目標は大学案内やホームページなどで学生や受験生に周知されているが、周知の程度は学部、研究科により差が見受けられる。とりわけ在学生には『履修の手引』への掲載やガイダンスなどを通じて、一層の周知を図ることが期待される。</p>					
点検・評価問題点	<p>本研究科は平成21年4月に設置され、その後、設置趣意書に記載されている専攻独自の理念・教育研究上の目的に沿ったかたちで教育研究を行ってきた。したがって、研究科の目的が定められていないという指摘は当該研究科には当てはまらない。理念、目的、教育目標の周知に関しては、入試説明会、新入生ガイダンス、スポーツ・健康科学研究法の授業の中で行ってきたが、『履修の手引き』や2年次対象のガイダンスにおいては学生に周知していない状況である。</p>					
改善方策	<p>1-16-1 平成23年度3月で本研究科は完成年度を迎える。現在のところ問題点は見当たらないが、新たな理念や教育・研究上の目的を定めることに関しては、その必要性を含め、研究科内に検討委員会を設置し検討する。また、理念、目的、教育目標の周知に関しては、在学生を含め「大学院履修要項」やガイダンスにおいて徹底を図る。</p>					
計画	前期		中期		後期	
	2010年度	2011年度	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度
2010年度実施計画		達成時期	2010年度取り組み結果			
なし			A 完全に達成	B 達成半ば	○ C 未達成	
			(B または C の理由)			
			平成23年度3月で本研究科は完成年度を迎える。これまでは、設置趣意書に記載した研究科の理念・教育研究上の目的に従い研究科運営を行ってきたため未達成となっている。			
2011年度実施計画		達成時期	2011年度取り組み結果			
自己点検評価委員会を中心とした検討委員会を設置 他大学の情報収集、 「大学院履修要項」やガイダンスにおいて理念、目的、教育目標の周知を図る方策を検討		2011.5 2011.7 2011.9	A 完全に達成	○ B 達成半ば	C 未達成	
			(B または C の理由)			
			自己点検評価委員会を中心として検討委員会を設置し、情報収集を始めたが、大学院履修要項やガイダンスにおいて理念、目的、教育目標の周知を図る方策を検討し終えていない。			
2012年度実施計画		達成時期	2012年度取り組み結果			
理念、目的、教育目標について検討 研究科委員会に答申		2012.10 2012.12	○ A 完全に達成	B 達成半ば	C 未達成	
			(B または C の理由)			
2013年度実施計画		達成時期	2013年度取り組み結果			
理念、目的、教育目標について在学生を含め「大学院履修要項」やガイダンスにおいて徹底を図る。		2013.4 2014.3	A 完全に達成	B 達成半ば	C 未達成	
			(B または C の理由)			
2014年度実施計画		達成時期	2014年度取り組み結果			
			A 完全に達成	B 達成半ば	C 未達成	
			(B または C の理由)			
2015年度実施計画		達成時期	2015年度取り組み結果			
			A 完全に達成	B 達成半ば	C 未達成	
			(B または C の理由)			

改善方策経過報告書

認証評価指摘事項	<p>【助言】【総評】教育・研究上の目的は、学科および専攻ごとに、学則に定められているものの、学部および研究科の目的は定められていない。</p> <p>【助言】【総評】大学院の専攻ごとの目的は「大学院設置基準」の文言に倣ったものであり、専攻独自の目的が見られない。</p> <p>【総評】理念、目的、教育目標は大学案内やホームページなどで学生や受験生に周知されているが、周知の程度は学部、研究科により差が見受けられる。とりわけ在学生には『履修の手引』への掲載やガイダンスなどを通じて、一層の周知を図ることが期待される。</p>
点検・評価問題点	本研究科は平成21年4月に設置され、その後、設置趣意書に記載されている理念・教育研究上の目的に沿ったかたちで教育研究を行ってきた。したがって、研究科の目的が定められていないという指摘は本研究科には該当しないと考える。
改善方策	1-16-1 平成23年度3月で本研究科は完成年度を迎える。現在のところ問題点は見当たらないが、新たな理念や教育・研究上の目的を定めることに関しては、その必要性を含め、研究科内に検討委員会を設置し検討する。また、理念、目的、教育目標の周知に関しては、在学生を含め「大学院履修要項」やガイダンスにおいて徹底を図る。

(2011年3月10日現在)

【現状の説明】

2011年度3月で本研究科は完成年度を迎える。そのため、設置趣意書に記載した研究科の理念、教育研究上の目的に関して問題点を明確にする作業を行わなかった。

所見	<p>学生や受験生に対する研究科の教育理念、目的、教育目標の周知は、一定水準で達成されていると判断できるが、『履修の手引き』やガイダンスで周知しているか、検証が必要である。</p> <p>完成年度以降、研究科の教育理念や目標の達成度について自己点検を行い、必要に応じて改善策を施すことが望まれる。</p>
----	--

(2012年3月31日現在)

【現状の説明】

2011年3月に完成年度を迎えた。設置趣意書に記載した研究科の理念、教育上の目的に関して問題点を明確にして改善を図るため、自己点検評価委員会を中心にして検討委員会を設置し、検討を開始し、他大学の情報収集を行った。

所見	<p>研究科の教育上の目的が設置趣意書に記載されていることと、それが学則に盛り込まれ「履修の手引き」やホームページ等を通じて在学生や受験生に周知されていることは別問題です。完成年度を過ぎて、教育理念、目的の問題点の検証を進め、目的を学則に明記するとともに、学生に対する周知がさらに徹底されることが望まれます。</p>
----	--

(2013年3月31日現在)

【現状の説明】

自己点検・自己評価の結果を受けて、全学的に教育研究上の目的及び基本方針（3つのポリシー）の改善が指示され、「履修の手引き」、ホームページ掲載のための文書を作成したが、これの履修の手引き、ホームページへの掲載、学生に対する周知はまだ実施できていない。

所見	<p>研究科の教育研究上の目的が早急に学則に定められ、さまざまな手段によって学生に周知が図られることを期待します。さらに、何らかの方法により、どの程度周知されているか周知度の検証が必要でしょう。</p>
----	---

